

# ～肺高血圧症チーム～

## 研究1:

現在、肺高血圧症モデルマウスとして、2種類のモデルがあります。しかし、これらのマウスモデルは肺動脈圧の上昇も軽度であり、肺高血圧患者の病理で見られる肺血管内膜肥厚も観察されません。本研究室では、血管内膜の肥厚が観察され、よりヒトの肺高血圧症に即したモデルマウスを作成することに成功しました。

## 研究2:

慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）の病態解明をテーマに、器質化血栓の病理学的検討を行っています。現段階で、血栓の器質化過程に炎症・線維芽細胞の浸潤、細胞外マトリックスの沈着が関与していることが明らかになりました。今後は、これらの細胞増殖を抑制、または細胞外マトリックスを融解する事で血栓の進行を抑制するといった予防法の確立が期待されています。

CTEPHの病態進展機序

